

第三回政府備蓄米放出 令和5年産米10万t 4/23~25入札

今後については、需給動向に応じて夏の端境期まで毎月入札を継続するとし、売渡・実施時期は適宜判断していく。

これまでの落札数量の内訳をみると、6年産米は約14万t、5年産米は約7万tだったことから、第3回が全量落札されると、6年産・5年産ともにほぼ使い切る格好となる(右図参照)。そうなれば、5月に実施する予定の第4回入札は4年産が対象となる。

在庫量: 91~99万トン



令和7年6月末 (見込み)

今週の玄米入荷情報 令和6年産

- ・秋田あきたこまちやまもと
- ・新潟岩船コシヒカリ
- ・福井コシヒカリ
- ・栃木コシヒカリ
- ・岩手ひとめぼれ前沢
- ・中通りコシヒカリ
- ・新潟新之助
- ・佐賀夢しずく

新品種の紹介

山形県「ゆきまんてん」県のオリジナル水稻新品種山形142号を「ゆきまんてん」と命名。デビューは、9年産から。高温耐性はつや姫・雪若丸に並ぶ「やや強」。はえぬきよりも高温耐性と収量性に優れる。

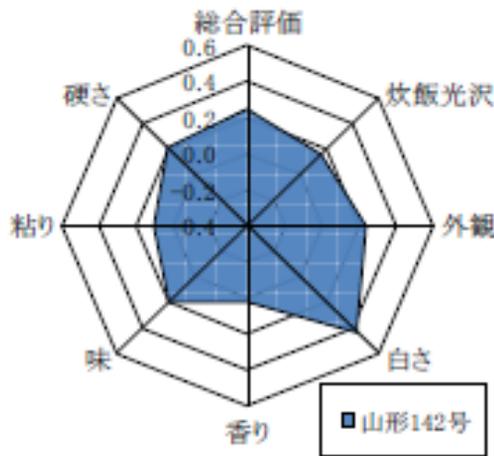
【来歴・栽培面】

「山形112号(雪若丸)」を母、「山形122号」を父に交配・選別したうるち米(県農総研)。出穂期・成熟期ともはえぬき並の「中生の晩」で、稈長ははえぬきより5cm程度長い中稈、耐倒伏性は「中」。葉もち抵抗性「やや強」、穂もち抵抗性「強」、耐冷性「強」、穂発芽性「中」で、高温登熟耐性は「やや強」。

【収量・品質・食味】

はえぬきと比較して、玄米千粒重は2g程度重く、収量は10%以上多収だ。また、玄米の外観品質ははえぬき以上、玄米粗タンパク質含有率ははえぬきよりやや低く、精米アミロース含有率ははえぬきよりやや高く、味度値ははえぬきを上回る。

炊飯米は光沢・外観・白さ・味が優れ、はえぬき並かそれ以上の良食味で、精玄米重が増加しても安定しているなどの特長がある。



コメカレンダー4/28日

鶏の日(毎月)「に(2)わ(8)とり」の語呂合わせから、日本養鶏協会などが1978(昭和53)年6月に制定しました。鶏卵・鶏肉の消費拡大が目的です。



かわら版
次号(第788号)は
5/12です。